

令和6年度 事業報告書



社会福祉法人 福井市社会福祉協議会

目 次

＜資料編＞

<略号について>

- (1) 【活動計画 No〇】の表示は、第4次地域福祉活動計画に基づいて、取り組んでいる事業の項目番号(34～35頁参照)を表しています。
- (2) 【資料〇】の表示は、関係する資料が資料編にあることを示しています。

令和6年度 重点目標の取り組みと成果

はじめに

令和6年度も、エネルギー価格や物価の高騰は私たちの日常生活を圧迫する事態となっています。また人口減少に伴って、人手不足や地域の活力不足が顕著になってきました。

このような状況において、地域福祉を推進する中核的な機能を持つ組織である本会では、市や関係機関と連携しながら住民参加による地域福祉活動を展開してきました。

また、令和8年4月1日予定の福井市ふれあい公社との統合に向け、組織体制や事業の強化を図るための協議を開始しました。

令和6年度は、次の重点目標を掲げて事業を推進しました。

1 住民同士が支え合い、誰もが安心して暮らせる地域社会を構築します

福祉委員の一斉改選がスタートし、防災の要素をプラスした見守り支援活動の啓発を行いました。また、生活支援コーディネーターによる生活支援・介護予防の充実および重層的支援体制との連携を進めました。

2 地域福祉の課題への共感を広げ、解決につながる参加・連携・協働を進めます

子ども福祉委員の拡充や高校生・大学生主体の活動を進め、こどもや若者の地域福祉活動への参加を広げました。また、児童書の寄贈などのコーディネートを通して企業の社会貢献活動を進めました。そして、地域福祉活動発表会を開催し、地域福祉の課題共有や共感を広げました。

3 権利擁護と困窮者の相談支援体制の充実を図ります

生活福祉資金・緊急小口資金等の特例貸付利用者へのフォローアップなど個別相談支援の充実を図りました。身寄りのない方への「身元保証事業」の検討も進めました。

4 子どもたちの安全・安心の場づくりを進めます

児童厚生員や児童クラブ支援員の確保に努めました。人材不足にならないよう、待遇改善と子育ての拠点としての魅力や働き甲斐のある職場づくりの推進に努めていきました。また、7児童館でこども食堂を実施し、幅広い年齢層の利用促進と交流を図りながら、地域の子育て拠点づくりを進めました。

5 住民に信頼される組織づくりを進めます”

適切な法人運営の推進、財政基盤の強化、関係機関との連携強化、職員の資質向上、住民への情報の積極的な提供を進めました。

令和6年度 事業報告

I 法人運営事業

< 拠点区分1 >

1 法人運営事業

公益性の高い法人として、透明かつ公正な運営を行うため、理事会で諸課題を協議するとともに、法人運営や会計処理を適正に行うため、法律、会計の専門家の協力を得て適正な運営に努めた。また、財政の健全化を図るため、中期経営計画の推進項目に取り組んだ。

(1) 三役会 (4回)

- ① 令和6年6月3日(月) 福井市民福祉会館 ボランティアルームA
- ② 令和6年9月3日(火) 福井市民福祉会館 ボランティアルームB
- ③ 令和7年1月8日(水) 福井市民福祉会館 301号室
- ④ 令和7年3月4日(火) 福井市民福祉会館 ボランティアルームA

(2) 理事会 (8回)

- ① 第1回 令和6年4月1日(月) 決議の省略の方法にて開催
 - 第1号議案 後任の理事候補者の推薦について
 - 第2号議案 後任の評議員候補者の推薦について
 - 第3号議案 第1回評議員会の開催について
 - 第4号議案 第1回評議員選定委員会の開催について
- ② 第2回 令和6年4月1日(月) 決議の省略の方法にて開催
 - 第5号議案 副会長の選任について
- ③ 第3回 令和6年4月22日(月) 決議の省略の方法にて開催
 - 第6号議案 後任の監事候補者の推薦について
 - 第7号議案 後任の評議員候補者の推薦について
 - 第8号議案 第2回評議員会の開催について
 - 第9号議案 第2回評議員選定委員会の開催について
- ④ 第4回 令和6年4月22日(月) 決議の省略の方法にて開催
 - 第10号議案 評議員選定委員の選任について
- ⑤ 第5回 令和6年6月12日(水) 福井県社会福祉センター3階 老人研修室
 - 第11号議案 令和5年度福井市社会福祉協議会事業報告及び決算の承認について
 - 第12号議案 第3回評議員会の開催について
- ⑥ 第6回 令和6年9月19日(木) 福井市民福祉会館4階 ボランティアルームA
 - 第13号議案 令和6年度資金収支第1次補正予算の同意について
 - 第14号議案 後任の評議員候補者の推薦について

- 第 15 号議案 評議員選定委員の選任について
- 第 16 号議案 第 3 回評議員選定委員会の開催について
- 第 17 号議案 第三者委員の選任について
- 第 18 号議案 第 4 回評議員会の開催について

⑦ 第 7 回 令和 7 年 1 月 28 日（火） 福井市民福祉会館 4 階 ボランティアルーム B
報告事項 福井市ふれあい公社との統合について

⑧ 第 8 回 令和 7 年 3 月 12 日（水） 福井市民福祉会館 ボランティアルーム A

- 第 19 号議案 令和 6 年度第 2 次補正予算の同意について
- 第 20 号議案 後任の評議員候補者の推薦について
- 第 21 号議案 第 4 回評議員選定委員会の開催について
- 第 22 号議案 社会福祉法人福井市社会福祉協議会育児・介護休業等に関する規程の一部改正について
- 第 23 号議案 社会福祉法人福井市社会福祉協議会事務局の組織に関する規程の一部改正について
- 第 24 号議案 社会福祉法人福井市社会福祉協議会経理規程の一部改正について
- 第 25 号議案 社会福祉法人福井市社会福祉協議会職員給与規程の一部改正について
- 第 26 号議案 社会福祉法人福井市社会福祉協議会放課後児童クラブ事業運営要綱の一部改正について
- 第 27 号議案 社会福祉法人福井市社会福祉協議会放課後児童クラブ支援員就業規則の一部改正について
- 第 28 号議案 令和 7 年度資金運用計画について
- 第 29 号議案 令和 7 年度事業計画並びに資金収支予算の同意について
- 第 30 号議案 令和 6 年度第 5 回評議員会の開催について
- 第 31 号議案 公益財団法人福井市ふれあい公社の事業譲渡に関する基本合意の締結について

(3) 評議員会（5 回）

① 第 1 回 令和 6 年 4 月 1 日（月） 決議の省略の方法にて開催
第 1 号議案 後任の理事の選任について

② 第 2 回 令和 6 年 4 月 22 日（月） 決議の省略の方法にて開催
第 2 号議案 後任の監事の選任について

③ 第 3 回 令和 6 年 6 月 28 日（金） 福井県社会福祉センター4 階 第 1・2 研修室
第 3 号議案 令和 5 年度福井市社会福祉協議会事業報告及び決算の承認について

④ 第 4 回 令和 6 年 10 月 22 日（火） 福井県社会福祉センター4 階 第 1・2 研修室
第 4 号議案 令和 6 年度資金収支第 1 次補正予算の承認について

⑤ 第 5 回 令和 7 年 3 月 26 日（水） 福井県社会福祉センター4 階 第 1・2 研修室

- 第5号議案 令和6年度資金収支第2次補正予算の承認について
 第6号議案 令和7年度事業計画並びに資金収支予算の承認について
 第7号議案 福井市ふれあい公社の事業譲渡に関する基本合意の締結について

(4) 評議員選定委員会の開催 (4回)

- ① 第1回 令和6年4月1日(月) 決議の省略の方法にて開催
 ② 第2回 令和6年4月22日(月) 決議の省略の方法にて開催
 ③ 第3回 令和6年10月9日(水) 福井市社会福祉協議会 会議室
 ④ 第4回 令和7年3月13日(木) 決議の省略の方法にて開催

(5) 監査の実施

監事監査 令和6年5月17日(金) 福井市社会福祉協議会 会議室

(6) 会計事務所による定期訪問監査 (4回)

(7) 顧問弁護士の配置

- (8) 職員総数 491名(令和7年3月31日現在)
 事務局職員 28名(常勤17名、市派遣2名、非常勤9名)
 事業職員 463名(非常勤職員)
 児童館(館長、児童厚生員) 84名
 児童クラブ職員(支援員) 296名
 自治会型デイホーム事業地域支え合い推進員 46名
 日常生活自立支援事業生活支援員 37名

(9) 自主財源の確保

① 社協活動の説明状況

地区自治会連合会 15回(前年度7回)
 地区社協の総会 30回(前年度3回)

② 会員会費の募集

会員会費募集の実績

区 分	実 績 額	前年度との比較
一般会費(年額500円/世帯)	34,303,402円	△108,080円
賛助会費(1口1,000円/個人)	8,309,300円	△256,471円
特別賛助会費 (1口10,000円/法人・企業)	6,549,000円	△19,790円
合 計	49,161,702円	△384,341円

※特別賛助会員加入企業数 521社(前年度 518社)

③ 寄附金

200件 709,484円 (前年度 203件 633,252円)

(10) 福祉サービスに関する苦情解決事業の状況

苦情受付件数 21 件（前年度 27 件）

〈苦情申出人の属性区分〉

サービス利用者 本人	1 件
サービス利用者 家族	13 件
自治会関係者	1 件
地区社協役員	0 件
福祉委員	0 件
一般市民	5 件
その他	1 件
合 計	21 件

〈苦情の事業区分〉

会員会費募集	0 件
地域福祉推進事業	1 件
自治会型デイホーム事業	0 件
ボランティア活動推進事業	1 件
児童館事業	3 件
放課後児童クラブ事業	16 件
共同募金	0 件
合 計	21 件

〈苦情の内容区分〉

サービス、ケアの内容に関わる事項	5 件
職員の接遇に関わる事項	8 件
制度、施策、法律に関わる事項	1 件
個人の嗜好・選択に関わる事項	1 件
その他	10 件
合 計	25 件

※ 1 件の苦情で複数の苦情内容に該当するものがあるため、苦情総件数と合計は一致しない。

(11) 広報啓発活動の推進

- ① 社協だより「まごころ」の発行 年 4 回 各 82,500 部(全戸配布)
- ② 点訳社協だよりの発行 年 4 回 各 26 部
- ③ 音訳社協だよりの発行 年 4 回 各 2 本
- ④ 社協のごあんない発行 年 1 回 19,000 部
- ⑤ ホームページ(<http://www.fukuic-shakyo.jp/>)での情報提供
- ⑥ Facebook(<https://www.facebook.com/fukuic.shakyo/>)での情報提供
- ⑦ YouTube (ふくみんチャンネル) での情報提供
- ⑧ 福井市社会福祉功労者表彰式 (市と共催)

開催日 令和 6 年 10 月 4 日 (金)

会 場 福井市民福祉社会館 2 階 小ホール

- ・ 市長表彰 16 名
- ・ 市社協会長表彰 2 団体 109 名
- 社会福祉施設功労者 42 名
- 社会福祉協議会・社会福祉団体関係功労者 15 名

退職役職員等社会福祉功労者	1 名
永年勤続功労者	29 名
ボランティア功労者	2 団体 10 名
福祉委員功労者	12 名

(12) 中期経営計画の推進

① 令和 6 年度の進捗状況

資料 1 参照

実施計画に基づき、取り組み項目、目標値の実現に向けて取り組んだ。

(13) 人事評価の実施

事務局常勤職員に対して目標管理による人事評価を行った。

(14) 衛生委員会の開催

職場での時間外勤務の縮減、年次有給休暇の取得、感染症対策、睡眠管理術、ストレスチェックの実施等について協議した。(6 回)

(15) ストレスチェックの実施

労働安全衛生法の規定に基づき、ストレスチェックを実施した。

実施期間 令和 6 年 11 月 1 日(金)～28 日(木)

(16) 法人連携の推進

① 福井県内社会福祉法人連携事業推進協議会への継続加入

② ふく福くらしサポート事業

近隣地域住民の生活上の困りごとに関する総合相談に対応した。

【支援実績】 3 回(2 名)

【前年度 0 回(0 名)】

【経済支援実績】 3 回(25,356 円)

【前年度 0 回 0 円】

(17) 他団体・機関との連携の推進

福井刑務所との社会貢献作業についての相互支援協定に基づき、児童用車いすのメンテナンスを依頼した。(4 月、8 月)

2 基金運営事業

地域福祉基金の一部を取崩し、地区社協活動啓発ふれあい事業に充当した。

(1) 地域福祉基金運営事業

基金残高 354,159,437 円(前年度 356,303,285 円)

(2) 災害ボランティア基金運営事業

基金残高 1,770,354 円(前年度 1,770,330 円)

Ⅱ 地域福祉推進事業

< 拠点区分2 >

1 地域福祉活動推進事業

誰もが安心して暮らせるまちづくりを進めるため、地区社協を核に、福祉委員、民生委員児童委員、自治会などの関係者に対し、地域づくりに取り組む支援を行った。

今年度も、福祉委員インタビュー動画を制作し、ICTを活用した地域福祉活動の推進を行った。

第4次地域福祉活動計画の事業を推進するため、取り組みスケジュールに沿って、18の取組について、企画、調整、実施を行った。

また、この活動計画に係る地域福祉活動推進会議を開催して、進行管理、評価を行い、次年度に向けての改善につなげた。

(1) 地区社協の育成支援

地域に根ざした地域福祉活動を推進する地区社協への、相談・助言等の支援を行うとともに活動費の補助を行った。

① 地区社協ブロック担当制による支援強化、地区社協会議への参加・支援

地区社協との連携を図るブロック担当職員(他業務と兼務)を配置し、各地区社協が行う各種地域福祉活動への助言や支援、情報提供を行った。

(ブロック地区社協担当者会議の開催 年12回)

② ブロック会議等を通じた情報交換と活動の充実

③ 地区社協運営・事業推進のための助成

地区社協育成補助金、地域福祉活性化事業助成金、福祉委員活動推進事業補助金、地区社協活動啓発・ふれあい事業補助金、食事サービス事業補助金、自治会型デイホーム事業補助金、ブロック地区社協育成補助金

(2) ひとり暮らし高齢者等の見守り支援活動の推進強化

① 福祉委員委嘱式及び研修会の開催

地区社協単位で福祉委員委嘱式を行った。また、研修の際には、福祉委員の役割等を紹介した動画を活用した。

② 福祉委員スキルアップ研修会

【活動計画No.17】

日時 令和6年11月2日(土)

会場 ショッピングシティ・ベル3階 あじさいホール

内容 講義と演習「楽しみながら、さりげない見守り活動のあり方」
～雰囲気作り・傾聴のポイントを学ぶ～

講師 仁愛大学人間生活部子ども教養学科 准教授 青井 夕貴 氏

③ 地域包括支援センター等関係機関との連携

地域包括支援センターと地区社協・市社協との連携を図った。一部、地域ケア会議に出席し、支援方法の協議やグループワークを行うなど、地域課題についての話し合いへの参加や、事業所対象の研修会に協力するなどした。

④ 地区社協単位で福祉委員と民生委員児童委員、自治会長、保健衛生推進員及び見守り関係者と研修、情報交換の場の設定(49地区80回)

資料2参照

ひとり暮らし高齢者等の見守り支援を強化するため、福祉委員の基本的な役割についての研修や、支え合いマップを使用しての情報交換会、地域包括支援セン

ターとの連携、地区に応じた福祉委員及び見守り関係者のスキルアップのための研修会の講座等を行った。

- ⑤ 自治会型デイホーム事業、食事サービス事業を通じた見守りの実施

- ⑥ 支え合いマップ作成のためのツールの提供及び活用の支援

福祉委員・民生委員児童委員等合同研修会でのひとり暮らし高齢者等の見守り支援のための媒体として、支え合いマップを希望する地区へ提供した。

(令和6年度末現在、11地区が支え合いマップを活用)

- ⑦ 福祉委員インタビュー動画の制作 【活動計画No.14】

地域の見守り・支え合い活動を広めていくため、新たに福井市内で活躍されている福祉委員2名に福祉委員になった「きっかけ」や活動する中での気づきなどをインタビューし、動画として市社協の公式YouTube「ふくみんチャンネル」で公開した。

- ⑧ 福井市あんしん見守りネットワークへの協力

地域団体(自治会、民生委員児童委員、地区社協、保健衛生推進員等)と各種協力事業者(新聞配達、運輸運送業者、ガス・水道事業者、介護サービス事業者等)による高齢者等への見守りネットワークづくりに参画した。

- ⑨ あったかメッセージの発信

見守り活動者から声をかけられている地域の方々(主に高齢者)に、ほっこりしたエピソードや見守り活動への励ましなどのメッセージを社協だより「まごころ」等にて広報した。

(3) 地区社協連絡協議会、ブロック地区社協の育成支援

理事会、連絡会、ブロック会議を通じ市社協と地区社協の連携を深めた。地区社協相互の情報交換を図りながら、地区社協連絡協議会を支援した。

- ① ブロック地区社協活動補助金の交付

- ② 地区社協連絡協議会理事会の開催 5回(4、5、8、12、3月)

- ③ 広報紙「むすんでひらいて」の発行 3回(7、9、3月)

- ④ 地区社協活動説明会 詳細版

開催日 令和6年5月9日(木)

会場 福井市民福社会館 ボランティアルームA

内容 地区社協活動の基本説明

会費・共募について

啓発・ふれあい事業、食事サービス事業について

デイホーム事業について

地区社協会計事務について

地区社協事務について

地区社協専用ホームページについて

参加者 地区社協事務局担当者等

- ⑤ 地区社協会長情報交換会

開催日 令和6年7月8日(月)

会場 福井県社会福祉センター4階 第1・2研修室

内容 講義・ワーク・情報交換

「小さな関心でつながる安心」～地域共生社会とこれからの見守り活動～

講師 富山短期大学 教授 関 好博 氏

参加者 地区社協会長 38名

⑥ 見守り活動に関する研修会

開催日 令和6年8月28日(水)

会場 福井県立図書館 多目的ホール

内容 講義 テーマ「楽しみながら地域福祉活動をするために～地域の中のゆるやかなつながりを探そう～」

講師 公益財団法人長野県長寿社会開発センター

主任シニア活動推進コーディネーター 戸田 千登美氏

参加者 地区社協関係者 69名

(4) 地区社協活動 啓発・ふれあい事業

資料3参照

地区社協の存在の周知、地区社協活動の理解、活動への参加を勧誘することを目的に、各地区社協で参加交流事業、広報事業を行った。また、各地区でふれあい福祉まつりを開催し、展示物で地区社協活動の紹介を行った。

① ふれあい福祉まつり

地区社協単位で46地区がふれあい福祉まつりを開催した。地区社協の活動紹介、共同募金運動の広報を必須とし、それ以外にも「福祉・健康相談」「福祉用具展示」等、福祉やボランティア活動について住民へ周知を行った。

② 交流・ふれあい事業

地区の実情に応じて、児童と高齢者の交流事業等を開催した。

③ 地区広報

各地区社協の活動を地区社協だよりやパネル製作で発信した。

(5) 各種地域福祉活動の推進

① SDGsを踏まえた企業・社会福祉法人等の社会貢献活動を広める 【活動計画No.6】

ボランティア情報や社協だより「まごころ」で、企業の社会貢献活動の事例を掲載し、広く発信した。

② 中高生向けまちづくりワークショップの実施

【活動計画No.9】

「みつける！考える！福祉のまちづくりワークショップ」

	学校名	実施日	参加者
1	宝永小学校4年生(2クラス)	令和6年11月6日(水)	38名
2	日新小学校4年生(2クラス)	令和7年1月14日(火) 令和7年1月21日(火)	41名
3	社西小学校4年生(2クラス)	令和7年1月28日(火) 令和7年2月4日(火)	59名

③ たわらまちバリアフリー体験会

【活動計画No.1,9】

開催日 令和6年9月22日(日)

※同日開催「カーフリーデー2024 ふくい」の一環

会場 田原町駅・鷺塚針原駅 他

内容 電車や徒歩で移動しながら、駅構内やバス停、周辺道路のバリアフリー・ユニバーサルデザインをチェックした。また、車いすでのバス乗降体験を促した。

参加者 28名

④ 福祉サービス事業者との情報交換会の開催 【活動計画 No.18】

開催日 令和6年12月4日(水)
 会場 福井県自治会館2階 多目的ホール
 内容 福井市介護サービス事業者連絡会の意見交換会へ参画
 参加者 市内介護サービス事業者、地区社協役員 120名

⑤ 地域福祉活動発表会の開催【活動計画No.11】

開催日 令和7年2月15日(土)
 会場 福井県自治会館2階 多目的ホール
 内容 ミニ講演、3つの事例発表、意見交換
 テーマ:「たのしい!」が生まれる「居心地のいい場所」の秘訣
 コーディネーター
 福井県立大学看護福祉学部社会福祉学科
 助教 永井 裕子 氏
 事例発表者 移動子ども食堂くるくるごはん 804
 代表 藤井 貴子氏
 LINK あそうづ
 代表 青木 さゑ子氏
 とうごうなかじま子ども食堂 TaNto
 実行委員長 中嶋 直太氏、事務局 川崎 千寛氏
 参加者 120名

(6) 社会参加、交流の場

① 中央いきいきサロン 【活動計画No.10】

ふれあいや交流を目的としたサロンを開催し、在宅障がい者等の心身機能の向上や仲間づくりを図った。

内 容	実施日時と回数、会場	参 加 者
茶話会、小物作り、クリスマス会等	毎週金曜日 13:00~15:30 実施回数 47回 会場 ボランティアルームA	延べ404名 (前年度延べ370名)

② オープンサロン ふらっとベル 【活動計画No.10】

年齢や障がいの有無に関わらず、誰でも気軽に集うことのできる場として、ショッピングセンターの空きスペースを活用したサロンをショッピングシティ・ベルに設けた。

内 容	実施日時と回数	備 考
買物ついでの休憩、おしゃべり、ちょっとした困りごと相談等	毎週火~木曜日 13:00~15:45 実施回数 144回	延べ1,826名 (前年度延べ1,585名)

(協力いただいた社会福祉法人等)

一乗谷友愛会、おおた福祉会、新清会、竹伸会、タクティクス福井

(7) 第4次地域福祉活動計画の推進

資料4参照

第4次地域福祉活動計画の16の取組について、企画、調整、実施を行った。

① 地区社協での実施に向けた働き掛けや協議

② 地域福祉活動推進会議

開催日 令和6年12月9日(月)

会場 福井市民福祉会館 ボランティアルームA

内容 第4次地域福祉活動計画推進状況と令和7年度の予定他

(8) 重層的支援体制整備事業への協力

市福祉総合相談室よりそいと情報交換し、今後の取組や連携について協議した。

2 自治会型デイホーム事業

地域支え合い推進員を対象に福井市の生活支援体制整備、防災、認知・心理的フレイル予防の研修を行った。また、協力者を対象に作業療法士を講師に迎え、身体的フレイル予防の研修を行った。ボランティアの協力を得て、関係機関と連携を図りながら見守り活動を兼ねた介護予防、フレイル予防の普及啓発に取り組んだ。

また、デイホーム実施時は、安全で安心して参加できる環境づくりやデイホームメニューを行った。

(1) 実施地区と実施回数・実施箇所数

資料5参照

① 実施地区 49地区(51区域)で実施

② 実施回数・実施箇所数

実施回数 延べ 3,753回 (前年度 延べ 3,660回)

実施箇所数 517か所 (前年度 467か所)

③ 参加人数 延べ 58,559名 (前年度 延べ 51,421名)

利用者数 延べ 42,472名 (前年度 延べ 40,566名)

実人数 8,516名 (前年度 8,036名)

協力者数 延べ 14,854名 (前年度 延べ 13,503名)

その他 延べ 1,233名 (前年度 延べ 1,055名)

④ 参加率 65歳以上参加率 10.1% (前年度 9.5%)

75歳以上参加率 12.3% (前年度 12.7%)

(2) 実施内容

① 必須メニュー

転倒骨折予防を目的とした「ふくいのだんどこ体操」やラジオ体操、認知症予防基本メニューを実施した。

また、毎月「デイホーム健康情報」を作成し、参加者に配布して介護予防、健康づくりへの意識を高めた。

② 通常メニュー

利用者アンケートを参考に、無理なく取り組める健康体操やレクリエーション・ゲーム・創作活動などを行った。

③ 防火教室、交通安全教室、消費者出前講座

消防局防火・救急法教室 8地区 延べ 16回

警察署 防犯教室 8地区 延べ 12回

警察署 交通安全教室	14地区	延べ	45回
市自転車利用促進課 交通安全教室	20地区	延べ	102回
市消費者センター 出前講座	8地区	延べ	28回
市政出前講座	7地区	延べ	17回

④ 「おうちでもデイホームセット」を活用した見守り及びフレイル予防の実施

気象状況等で中止となった会場エリアの利用者を対象に、脳トレ資料と健康情報、自宅でも取り組める体操などの資料を組み合わせ「おうちでもデイホームセット」として配布。見守り活動を兼ねた活動として行った。

実施地区 22 地区
 実施者 延べ 701 名
 協力者 延べ 101 名

(3) 自治会型デイホーム事業運営委員会

各地区社協単位で開催 49地区社協 計116回

(4) 会議・研修会

① 定例会の開催 年8回

② 研修会

第1回	開催日	令和6年5月27日(月)	参加者	43名
	内 容	講義「生活支援体制整備に向けた地域支え合い推進員について」		
	講 師	福井市地域包括ケア推進課		
第2回	開催日	令和6年9月30日(月)	参加者	44名
	内 容	講義「福井市の防災対策」		
	講 師	福井市危機管理課		
第3回	開催日	令和6年11月25日(月)	参加者	44名
	内 容	講義・実技「フレイル(認知・心理)について～高齢者の体の変化～」		
	講 師	医療法人健康会 嶋田病院 作業療法士 岡倉 勇斗氏		

③ 自治会型デイホーム協力者研修会

開催日 令和6年8月5日(月) 参加者 87名
 会 場 福井県自治会館2階 多目的ホール
 内 容 講義・実技
 「元気に日常生活を送るために必要なこと～キーワードはフレイル予防!～」
 講 師 一般社団法人 福井県作業療法士会 田嶋 神智 氏

(5) 利用促進事業

DVD プレーヤー及びプロジェクターを貸し出し、各種講座を開催した。また、教養講座として、介護予防のための体操講座、フラワーアレンジメント講座や和菓子講座等を開催し、利用促進を行った。

貸出実績 1 回 (前年度 1 回)
 教養講座回数 12 回 (前年度 15 回)

3 ふれあい食事サービス事業

希望するひとり暮らし高齢者等の健康増進、孤独感の解消、見守り活動を目的に49地区社協が実施主体となり、食事サービス事業を実施した。

会食会や調理したお弁当また、業者の弁当を配布した。

(1) 実施回数、食数 ※ () 内の数字は前年度実績

実施地区		49 地区
実施回数		延べ 438 回 (436 回)
形 態	配 食	延べ 426 回 (432 回)
	会 食	12 回 (4 回)
提供食数		延べ 13,777 食 (13,680 食)
利用実人数		2,091 名 (2,137 名)
協力者数		延べ 5,632 名 (4,393 名)
運営委員会開催		延べ 153 回 (153 回)
調理状況		手作り 23 地区 (上半期 17 地区、下半期 18 地区)

(2) 衛生管理・食中毒予防対策

使い捨て手袋、マスクを各地区に配布した。

(3) 地域福祉リーダー研修会

開催日 令和6年6月17日(月) 参加者 81名

会 場 福井県自治会館2階 多目的ホール

内 容 講義「食事サービスにおける衛生管理～食事サービスの安全&安心～」

講 師 公益社団法人 福井県栄養士会 管理栄養士 野路 直美氏

4 ボランティアセンター事業

若い世代のボランティア参加を促進するため、高校生向けのボランティア体験を実施し、ボランティア活動への参加の機会を設けた。

また、ボランティアルーム等の利用促進やボランティア講座の開催により、活動の機会の提供を行った。

さらに、地域ぐるみで福祉教育を推進する時は、学校等と協議しながら福祉体験プログラムの充実に努めた。

市総合ボランティアセンターの運営や連携について定期的な協議の場を設けた。

(1) ボランティアセンターの運営

① ボランティアセンターの利用件数 543 件 (前年度 543 件)

② ボランティアの需給調整 ※ () は前年度の数字

項 目	件 数	備 考
1. ボランティア相談	194 件 (224 件)	
i ボランティア活動希望	23 件 (13 件)	
ii ボランティア派遣希望	99 件 (132 件)	
iii その他の相談	72 件 (79 件)	企画相談、預託等
2. ボランティア相談マッチング数	242 件 (196 件)	
i 活動紹介	166 件 (134 件)	
ii 情報提供	50 件 (53 件)	
iii 他機関紹介	10 件 (3 件)	
iv 広報	3 件 (4 件)	
v その他	13 件 (2 件)	

③ 福井市社協ボランティアセンター新規登録者数 2名

④ ボランティア活動者の把握数 ※ () は前年度の数字

個人	—	856名 (744名)
団体	296団体 (287団体)	10,340名 (10,831名)
合計	296団体 (287団体)	11,196名 (11,575名)

⑤ 物品の預託

個人・団体・企業等から、災害備蓄品・タオル・使用済み切手他の物品の預託を受入し、福祉施設・団体・ボランティア活動者等へ払い出した。

⑥ ボランティア講座の開催

ア ブックサイクルと絵本の読み聞かせ

【活動計画 No. 5】

(ア) 準備ボランティア

開催日 令和6年9月27日(金)、10月20日(日)

会場 福井市民福祉会館4階 ボランティアルームA・B

内容 当日に向けての絵本の消毒、分類、看板づくり

参加者 高校生等延べ11名

(イ) 当日ボランティア

開催日 令和6年11月4日(祝)

会場 ショッピングシティ・ベル2階 特設会場

内容 ブックサイクル、絵本の読み聞かせ、折り紙づくり等

参加者 16名

来場者 約300名

イ ボランティアコーディネーション研修

【活動計画 No. 17】

(ボランティア受入スキルアップ研修、市総合ボランティアセンター共催)

開催日 令和7年2月27日(木)

会場 福井市総合ボランティアセンター(ハピリン4階)

内容 講義、グループワーク

講師 一般社団法人おおづち 直井 友樹氏

事例発表者 特定非営利活動法人くまっこクラブふくい 吉田 朋子氏

特定非営利活動法人NICE 水口 実穂氏

参加者 21名

⑦ ボランティア情報の発信

ア ボランティア情報紙の発行

回数 年5回発行

部数 3,000部(ただし、社協だより発行月は3,600部)

設置先 金融機関、公民館、地区社協、高等学校等 284か所

イ ホームページ、Facebookによる情報提供(随時)

⑧ 障がい者の文化・芸術活動の情報発信【活動計画 No.8】

ア 芸術活動の参加機会をつくっている団体等へ取材し、ボランティア情報に掲載した(2回)。また、随時展覧会開催の情報を広報した。

イ きらりアート展実行委員会主催(若狭町社協事務局)の「きらりアート展」へ出展する機会を広げるために、嶺北エリアからの出展に協力した。

⑨ 雪かきボランティア受入れ窓口の開設及びボランティア募集

市内在住の障がい者や高齢者の非課税世帯で、同居又は近隣に親族・親戚等がなく自力での雪かきが困難な方を対象に12月2日から翌年3月14日まで窓口

を開設した。

※（ ）は前年度の数字

雪かきボランティア相談数	100 件 (58 件)
ボランティア活動希望者数	12 名 (11 名)
ボランティア依頼世帯数	7 世帯<障がい者 5 世帯、高齢者 2 世帯> (4 世帯)
ボランティア活動日数	4 日 (2 日)
ボランティア活動者数 (延べ)	39 名 (16 名)

⑩ 企業等の社会貢献コーディネート

ア 児童書の寄贈にかかるコーディネート

AKUSHU BOOK&BASE エルパ店の社会貢献として、市内の児童に関わる事業所や団体へのコーディネート支援を行った。

配布地区 6 地区

寄贈施設 43 か所

イ 寄附・寄贈の受け入れ

5 社（森永北陸乳業(株)、あいおいニッセイ同和損保、セブン-イレブン・ジャパン、(株)福井村田製作所アスワ工場、稲邦(株)）、2 団体（福井中央ライオネスクラブ、(一社)福井地区建設業会青年部会）から食料品やマスク、災害備蓄品の寄贈があり、ひとり親家庭や子ども食堂への支援、地区での防災をテーマとした講座等に活用した。

ウ イベント支援

福井九頭竜ライオンズクラブ主催の手話啓発イベントや、能登震災・豪雨復興支援のイベント開催にあたり、関係機関との調整を行った。

(ア) 開催日 令和 6 年 5 月 11 日 (土)

会 場 ラブリーパートナー・エルパ

内 容 やってみよう！手話でおしゃべり 知ってみよう！臓器提供

来場者 約 100 名

(イ) 開催日 令和 7 年 2 月 22 日 (土)

会 場 福井市民福祉会館 2 階 小ホール

内 容 みんなでつくる文化祭 チャリティーフェスティバル

来場者 約 500 名 (内、出演ボランティア団体 2 団体 23 名)

⑪ ボランティア連絡協議会への支援

ボランティアグループや個人ボランティアが加入し、情報交換や研修等を行っているボランティア連絡協議会の主催行事等の支援協力を行った。

ア レクリエーションボッチャ大会

(令和 6 年能登半島地震・東日本大震災チャリティー)

開催日 令和 7 年 3 月 9 日 (日)

会 場 福井市民福祉会館 2 階 小ホール

イ 第 46 回ユニークダンスパーティー (コンサート)

開催日 令和 6 年 12 月 1 日 (日)

会 場 福井市民福祉会館 2 階 小ホール

⑫ 福井市民福祉会館福祉関係ボランティア団体登録利用申請 (令和 7 年 3 月 31 日現在)

福井市民福祉会館福祉関係ボランティア団体登録 (45 団体)

ボランティアルーム利用人数 (延べ 8,447 名)

利用期間 令和6年4月1日～令和7年3月31日

(祝日、ゴールデンウィーク、お盆期間、年末年始を除く)

⑬ ボランティア活動保険

ア 加入受付数 5,954 名 (前年度 5,465 名)

イ ボランティア保険等の加入のための普及啓発

⑭ 車椅子の貸出 85 件 (前年度 72 件)

⑮ マスコットキャラクター「ふくみん」着ぐるみの貸出し 5 件 (前年度 4 件)

⑯ 「福井市ボランティアネット」の運営協力

(2) 福祉教育の推進

① 学校での福祉体験講座などへの支援協力

相談・コーディネート等 123 件 (前年度 105 件)

② 学校での福祉体験講座 (講師) 延べ 100 校 (前年度 85 校)

③ 企業等での福祉体験講座 (講師) 延べ 1 か所 (前年度 2 か所)

④ 中高生向けまちづくりワークショップの実施

【活動計画No.9】

⑤ 教職員目的別研修 (市教育委員会との共催)

開催日 令和6年8月6日 (火)

会 場 AOSSA6 階 レクレーションルーム AB

内 容 講義、実践報告、ボッチャ体験

講 師 自立生活センターCom-Support Project 齊藤 輝幸氏

参加者 9 名

⑥ 子ども福祉委員事業の実施

【活動計画No.3】

子どもたちに地域の見守り活動に参加してもらうことで、お年寄りの存在や大切さを感じてもらうことを目的に、任命式や地域の方々との交流を行った。

	学校名	期間	内容	協力者
1	鶉小学校4年生 (1クラス)	令和6年9月～12月	・任命式 ・講義 ・車いす体験、視覚障がい者との交流とガイドヘルプ体験 ・共生社会出前授業 ・障がい者スポーツ体験講座 ・授業外・地域活動への参加 (鶉地区デイホーム、宮ノ下地区福祉まつり)	・鶉小学校 ・鶉、宮ノ下地区社協 ・高齢者福祉施設宝珠苑 ・保護者 ・地域の高齢者
2	豊小学校4年生 (有志4名)	令和6年6月～10月	・高齢者体験 ・講義 ・授業外・地域活動への参加 (任命式、豊地区デイホーム、敬老会でボランティア公民館まつりでボランティア、振り返り)	・豊小学校 ・豊地区社協 ・保護者 ・地域の高齢者

(3) 関係機関団体との連携、協働活動の推進

福井市総合ボランティアセンター運営委員会への参加

第1回 開催日 令和6年4月16日 (火)

- 内 容 令和5年度事業報告、令和6年度事業計画、減免認定団体の
審査
第2回 開催日 令和6年11月25日(月)
内 容 4~10月事業報告、センター運営方針の見直し(案) 他

(4) 災害への対応

① 福井市災害ボランティアセンター連絡会への参画

ア 連絡会への参画

- 第1回 開催日 令和6年5月29日(水)
内 容 令和5年度事業報告と令和6年度事業計画、令和6年度災害
ボランティアセンター訓練について 他
第2回 開催日 令和6年11月6日(水)
内 容 訓練等の結果について、各団体からの活動報告
第3回 開催日 令和7年3月18日(火)
内 容 令和6年度事業報告と令和7年度事業計画(案) 他

イ 研修会への参画

- 開催日 令和6年12月1日(日)
内 容 災害時における「やさしい日本語」活用研修
会 場 福井市総合ボランティアセンター研修室

② 関係機関団体との連携の推進

福井市・福井市内10ライオンズクラブとの災害福祉活動に関する相互連携協
定の締結

- 開催日 令和6年5月7日(火)
会 場 福井市役所 庁議室
参加者 16名(うち本会3名)
内 容 調印式

③ 令和6年能登半島地震への対応

ア 現地社協の業務応援

輪島市社協(事務局職員5名派遣)

- 派遣期間: 令和6年6月29日(土)~7月4日(木)
令和6年7月7日(日)~7月12日(金)
令和6年7月23日(火)~7月28日(日)
令和6年8月8日(木)~8月13日(火)
令和6年8月24日(土)~8月29日(木)

活動場所: 輪島市社協本所、門前支所など

活動内容: ニーズ把握、災害ボランティアセンターの運営

5 共同募金配分金事業

福井市共同募金委員会からの助成を受け、市社協で広報啓発事業や見守り支援事業、
地区社協では地域福祉活性化事業などを行った。

(1) 広報啓発事業

① 社協だより「まごころ」の発行

※詳細は5ページに記載

- ② ボランティア情報紙の発行
※詳細は 14 ページに記載

(2) 見守り支援事業 (8~9 ページ参照)

- ① 福祉委員設置助成
福祉委員設置地区 49 地区 (1,569 名)
福祉委員活動推進費補助 1 名につき 2,000 円
- ② 福祉委員スキルアップ研修会の開催
※詳細は 8 ページに掲載
- ③ 福祉委員インタビュー動画の制作 【活動計画No.14】
※詳細は 9 ページに掲載
- ④ 地域支え合いマップ作成
地区の要望に応じて、地域支え合いマップを作成した。

- (3) 地域福祉活性化事業助成 628,900 円
前々年度大口募金実績額に基づき、地区社協に助成した。

- (4) 歳末たすけあい配分金事業
- ① 障害者ふれあい交流事業助成
- ② 地域支え合いマップ作成

- (5) 緊急災害援護配分金
140,000 円 (住宅全焼見舞金 10,000 円×6 件、死亡見舞金 20,000 円×4 件)

- (6) 災害義援金
217,337 円 (令和 6 年能登半島地震災害義援金)
10,000 円 (令和 6 年能登半島地震災害義援金・福井県分)
68,784 円 (令和 6 年能登豪雨災害義援金)
126 円 (令和 6 年 7 月山形県・秋田県大雨災害義援金)
695 円 (大船渡市赤崎町林野火災災害義援金)

6 日常生活自立支援事業

認知症高齢者、知的障がい者及び精神障がい者等に対し、福祉サービス利用援助、日常的金銭管理及び書類等の預かりを行い、判断能力に不安のある方々の地域生活を支援した。精神障がい者や触法障がい者、認知症の親と知的（精神）障がい者の同居世帯に対する相談支援等、複合的に課題を抱えた困難ケースについても関係機関と連携して対応した。

(1) 利用状況

- ① 契約件数累計 652 件(うち令和 6 年度の新規契約件数 31 件)

認知症高齢者	知的障がい者	精神障がい者	その他	合計 (前年度)
362 件	110 件	171 件	9 件	652 件(621 件)

② 現利用者件数 161 件（令和 7 年 3 月 31 日現在）

認知症高齢者	知的障がい者	精神障がい者	その他	合計（前年度）
51 件（30）	41 件（13）	68 件（32）	1 件（0）	161 件（142 件）

※利用者のうち、生活保護受給者 75 名（47%）

※（ ）内は生活保護受給者

（2）相談状況

本事業の利用に関するもの				合計（前年度）
認知症高齢者	知的障がい者	精神障がい者	その他	
1,584 件	647 件	1,594 件	21 件	3,846 件（3,694 件）

（3）成年後見制度への移行状況

認知症高齢者	知的障がい者	精神障がい者	その他	合計（前年度）
3 件	0 件	1 件	0 件	4 件（3 件）

（4）広報啓発活動

社協だより「まごころ」及び本会ホームページに事業広報を掲載した。

出前講座 3 回

7 生活福祉資金貸付事業

所得の少ない世帯、障がい者や介護を必要とする高齢者がいる世帯を対象に、総合支援資金や福祉資金、教育支援資金等の生活福祉資金貸付制度に関する相談を受けた。

緊急小口資金等特例貸付の借受人に対して、生活状況の把握や償還の相談等フォローアップ支援を行った。また、県社協による滞納案件の償還指導等に協力した。

（1）本則貸付

相談件数	延べ	290 件（前年度	239 件）
申請件数	延べ	26 件（前年度	16 件）
貸付件数	延べ	20 件（前年度	12 件）
（内訳）総合支援資金		0 件（前年度	0 件）
福祉資金		6 件（前年度	6 件）
緊急小口資金		10 件（前年度	4 件）
教育支援資金		4 件（前年度	2 件）
貸付総額		4,269,460 円（前年度	4,735,500 円）

（2）緊急小口資金等特例貸付のフォローアップ支援

支援内容	延べ件数（単位：件）	前年度件数（単位：件）
償還免除	170 件	182 件
償還支払猶予	521 件	392 件
償還手続き	29 件	253 件
償還相談	858 件	848 件
借受人の生活状況の聞き取り	720 件	853 件
未対応、償還困難な借受人に対するアウトリーチ（不在の件数も含む）	2,584 件	—
合 計	4,882 件	2,528 件

8 法人後見事業

本会が法人として成年後見制度に基づく成年後見人等を受任し、判断能力が不十分な方の財産管理や身上監護を行った。

(1) 利用状況

現受任件数 2 件（令和 7 年 3 月 31 日現在）

成年後見	保 佐	補 助	合 計
1 件	1 件	0 件	2 件

（令和 6 年度の新規受任はなし）

(2) 相談件数 4 件（前年度 6 件）※一般的な制度についての相談、受任に関する相談等

9 ふくい嶺北成年後見センター

成年後見制度の利用促進にかかる地域連携ネットワーク作りの中核機関として、ふくい嶺北圏域 7 市町（福井市・勝山市・鯖江市・永平寺町・池田町・南越前町・越前町）から共同で委託を受け、運営した。

(1) 相談業務（二次相談窓口）

① 市町別相談件数 延べ人数 454 名（前年度 435 名）、実人数 221 名（前年度 189 名）
※（ ）は前年度の数字

市町内訳	福井市	勝山市	鯖江市	永平寺町	池田町	南越前町	越前町	その他
延べ人数	372 名 (355 名)	3 名 (5 名)	26 名 (26 名)	8 名 (7 名)	10 名 (4 名)	15 名 (4 名)	10 名 (23 名)	10 名 (11 名)
実人数	173 名 (143 名)	3 名 (4 名)	14 名 (18 名)	8 名 (4 名)	5 名 (3 名)	6 名 (3 名)	5 名 (7 名)	7 名 (7 名)

② 相談者種別（初回のみ）221 名

相 談 者	件数
行政	64 件
親族	46 件
地域包括支援センター	28 件
障がい相談支援事業所	14 件
ケアマネジャー	12 件
病院	11 件
その他	46 件

③ 相談内容種別（1 回の相談に複数計上あり）

内 容	件数
制度利用検討	261 件
申立手続き支援	92 件
制度説明	89 件
不安の解消	86 件
権利擁護支援・意思決定支援	37 件
任意後見	30 件
その他	221 件

(2) 適正運営委員会の開催（受任候補者の調整）

開催日 毎月第 3 水曜日 14:00～16:00

取扱件数 39 件（前年度 39 件）

市町内訳	福井市	勝山市	鯖江市	永平寺町	池田町	南越前町	越前町
職種							
市民後見人	1 件						

弁護士	7 件		2 件				
司法書士	5 件						
社会福祉士	17 件		5 件		2 件		1 件

※複数推薦した事案があるため、職種ごとの合計と取扱件数は一致しない。

(3) 普及・啓発

出前講座 24 回（昨年度 28 回）（延べ参加者数 565 名 昨年度 661 名）

普及啓発イベント 成年後見制度講演会・相談会（8 月 4 日フェニックス・プラザ）

講演会の様子を YouTube「ふくみんチャンネル」で配信

成年後見あんしんガイドの作成（増版） 9,000 部

(4) 担い手の育成

① 市民後見人（市民後見人バンク登録 12 名、市民後見人名簿登録 1 名）

登録者への支援（相談件数） 延べ 28 件

フォローアップ研修 2 回

市民後見活動マニュアルの作成 150 部

② 法人後見

法人後見の立ち上げに関する相談 2 法人

(5) 地域連携ネットワークづくり

ふくい嶺北成年後見制度利用促進連携協議会

令和 6 年 7 月 12 日（金）

家事関係機関と家庭裁判所との連絡協議会

令和 6 年 7 月 11 日（木）

令和 6 年度 福井県成年後見制度利用促進ネットワーク会議

令和 7 年 2 月 27 日（木）

10 生活支援体制整備事業

地域共生社会の実現のため、高齢者が住み慣れた地域で自立した日常生活をするために、第 2 層地域支えあい推進員を配置し、自治会型デイホーム会場等において、気がかりな方の情報を集約し、自治会型デイホーム事業企画職員、第 1 層生活支援コーディネーター等と情報を共有した。

また、地域での支え合いの体制づくりを進めるため、地域包括支援センター、関係機関、各種団体等と連携を図り、地域課題の把握や解決に向けた話し合い等を行った。

(1) 自治会型デイホーム会場等で気がかりな方の情報集約、見守り・支え合い活動の強化

① 地域支えあい推進員向け研修会の開催

開催日 令和 6 年 5 月 27 日（月） 参加者 43 名

内 容 講義「生活支援体制整備に向けた地域支えあい推進員について」

講 師 福井市地域包括ケア推進課

② 「自治会型デイホームでの見守り強化について」情報交換

開催日 令和 6 年 11 月 25 日（月） 参加者 46 名

内 容 デイホーム等での見守り強化について情報交換

③ 地域の中の困りごと、地域の課題等の把握

- (2) 第1層生活支援コーディネーターや地域づくりコーディネーターとの情報共有、福祉総合相談室よりそいとの連携
定期的に連絡会を開き、地域の居場所づくりを実施している団体の活動状況や社会資源の情報把握、地域づくりに向けた取り組み、地域課題等について、第1層生活支援コーディネーターや地域づくりコーディネーターとの共有を図った。(年10回)
- (3) 地縁組織等多様な主体への働きかけ、活動支援
地域の居場所づくりに向けた住民との話し合いの機会を設け、住民主体の活動になるように、地域の状況に応じた支援を行った。(森田、清水東、社北)
- (4) 地域ケア推進会議等へ参画
① 自立支援型ケア会議 9圏域 17回
② 地域ケア推進会議 11圏域 12回
- (5) 職員向け学習会の開催
① コーディネーション研修
開催日 令和6年8月29日(木)
内 容 講義と演習「コーディネーション機能と大切な視点について」
講 師 公益財団法人長野県長寿社会開発センター
主任シニア活動推進コーディネーター 戸田 千登美氏
② 地域診断に関する学習会
開催日 令和6年9月12日(木)、12月20日(金)
内 容 講義と演習「地域課題を導き出す技術をみがく」
講 師 福井大学学術研究院医学系部門看護学領域
コミュニティ看護学分野 准教授 北出 順子 氏

Ⅲ 子ども・子育て支援事業

< 拠点区分3 >

1 児童館事業

地域における児童健全育成の活動拠点としての機能強化を図るため、全児童館において土曜日を中心に季節行事、伝統行事及び地域と連携した行事、運動スポーツ、造形創作を年10回以上実施した。

また、児童館だよりの自治会回覧や児童館ホームページを通じて児童館の周知を図った。(※★は、げんキッズ育成事業でも実施)

(1) 児童館の管理運営(合計24館)

資料6参照

つばき、ひまわり、さざんか、とちのき、もくせい、とまと、すいせん、すずらん、ふじ、もみじ、こすもす、くすのき、たちばな、たんぽぽ、すみれ、どんぐり、くるみ、つくし、すぎのこ、まきやま、たけのこ、さくらんぼ、ちゅうりっぷ、まつのき

- ① 職員体制 館長 24名、児童厚生員 48名
- ② 開館日 月～土曜日(日曜日、祝日及び年末年始は休館)
- ③ 開館時間 12:00～18:00(長期休業中は8:30～18:00)
- ④ 利用者数 延べ 256,842名(前年度 256,783名)
(内訳) 一般来館者数 延べ 35,012名(前年度 32,783名)
放課後児童クラブ利用児童 延べ 221,830名(前年度 224,000名)
- ⑤ ボランティア活動者数 延べ 498名(前年度 391名)

(2) 児童館運営委員長会議 ★

開催日 令和6年7月18日(木)

会場 福井市民福祉会館4階 ボランティアルームA

内容 運営委員会の役割について、令和5年度事業実施状況、令和6年度事業の取り組みについて、地域との連携行事について、児童館・児童クラブの運営に関する質問・意見について、令和6年度放課後児童クラブ支援員募集について

(3) 児童館長会議の開催(6回) ★

開催日 令和6年4月23日(火)、6月11日(火)、9月10日(火)、
10月29日(火)、

令和7年1月21日(火)、3月4日(火)

(4) 児童館職員研修の実施 ★

① 児童館長研修会

開催日 令和6年6月25日(火)

会場 フェニックス・プラザ3階 301号室

内容 組織マネジメントの理解、リーダーシップ、人材育成について

講師 キャリアコンサルタント

光照 良浩氏

参加者 館長、厚生員 29名

② 児童館職員研修会 ★

第1回 開催日 令和6年7月2日（火）
 会場 福井市防災センター
 内容 救急救命講習会
 講師 福井市消防局 応急手当指導員、女性消防団員
 参加者 館長、厚生員、支援員 43名

第2回 開催日 令和6年7月3日（水）
 会場 福井市防災センター
 内容 救急救命講習会
 講師 福井市消防局 応急手当指導員、女性消防団員
 参加者 館長、厚生員、支援員 45名

第3回 開催日 令和6年9月24日（火）
 会場 福井市民福祉会館2階 小ホール
 内容 講義「相談援助技術について」
 講師 福井県立大学 看護福祉学部 社会福祉学科
 教授 吉弘 淳一 氏
 参加者 館長、厚生員 78名

第4回 開催日 令和6年10月4日（金）
 会場 福井市体育館
 内容 講義「子どもの運動遊び」
 実技「運動遊びプログラムの実際」
 講師 JUMP-JAM トレーナー 酒森 未来 氏
 水野 かおり 氏
 参加者 厚生員 51名

第5回 開催日 令和6年11月21日（木）
 会場 市民福祉会館4階 ボランティアルームA
 内容 実技「牛乳パックを使用した工作」
 講師 福井県児童館連絡協議会 初岡 翔子 氏
 参加者 館長、厚生員 14名

第6回 開催日 令和7年2月4日（火）
 会場 フェニックス・プラザ3階 301号室
 内容 講義「情報セキュリティ対策2025」
 講師 株式会社ビズ・マーク
 代表取締役 児嶋 貴宏 氏
 参加者 館長1名、厚生員 54名

※館長27名は、令和7年1月21日（火）に開催された福井市こども育成課主催の「令和6年度福井市放課後児童クラブリーダー養成研修会」で同内容の研修を受講した。

③ 児童厚生員連絡会

開催日 令和7年2月4日(火)

会場 フェニックス・プラザ3階 301号室

内容 情報交換及びグループワーク

「実施した児童館事業活動と来館者数増加のために必要であること」

参加者 厚生員 54名

(5) 児童館事業の広報活動 ★

① 児童館だよりの自治会回覧

② 市社協ホームページで各児童館活動紹介

③ 児童館のしおり「みんなで遊びにいこうよ!」発行

④ 保健衛生推進員を通じた子育てひろばチラシの配布

(6) 施設の修繕 ★

こすもす児童館外部水道蛇口修繕工事他 12件

(7) 児童館利用者アンケートの実施 ★

① 一般来館の利用児童及びその保護者に、児童館利用についてのアンケートを行った。

実施期間 令和6年7月1日(月)～9月30日(月)

回答数 児童館利用児童 364名

児童の保護者 75名

② 子育てひろば利用者に、子育てひろば利用についてのアンケートを行った。

実施期間 令和6年10月3日(木)～12月28日(土)

回答数 子育てひろば利用者 181名

(8) 児童館ホームページのスマートフォン対応サイトの構築

児童館活動を広く住民に周知・啓発するためスマートフォン対応版のサイトを構築した。

(9) げんキッズ育成事業の運営

小学校の余裕教室を活用して学校内で児童館事業を実施し、小学生を対象とした地域の放課後の居場所づくりを行った。

① 開設場所 春山小学校「さくらじどうかん」、足羽小学校「あじさいじどうかん」、旭小学校「さつきじどうかん」、麻生津小学校「あさがおじどうかん」

② 職員体制 館長4名、児童厚生員8名

③ 開館日 月～土曜日(日曜日、祝日及び年末年始は休館)

④ 開館時間 12:00～18:00(長期休業中は8:30～18:00)

⑤ 利用者数 延べ 44,238名(前年度 45,570名)

(内訳) 一般来館者数 延べ 3,527名(前年度 3,483名)

放課後児童クラブ利用児童 延べ 40,711名(前年度 42,087名)

⑥ ボランティア活動者数 延べ 114名(前年度 81名)

2 放課後児童クラブ事業

児童館、小学校内に放課後児童クラブを開設し、保護者が共働き等の理由で放課後家庭にいない児童を預かり、生活の支援を行った。

(1) 放課後児童クラブの開設 児童館内 24 クラブ、小学校内 4 クラブ

(2) 登録児童数 1,493 名 (前年度 1,407 名)

(3) 支援員研修会

開催日 令和 6 年 6 月 19 日 (火)

会 場 福井市民福社会館 2 階 小ホール

内 容 信頼関係を築くコミュニケーションスキル

講 師 株式会社ドリームワークス

代表取締役 山内 喜代美 氏

参加者 支援員 106 名

(4) 放課後児童支援員認定研修の受講 12 名

(5) 障がい児等の専門カウンセラーの派遣

派遣件数 53 件 (前年度 61 件)

(6) 不審者対応

全館で緊急通報装置のメンテナンス、作動訓練を実施した。

(7) 令和 7 年度の入会希望児童の調整

つばき児童クラブ (社南地区)、さざんか児童クラブ (木田地区) において、定員を上回ったため入会の抽選を行った。抽選を外れた児童は、同校区内の他の児童クラブに入会した。また、すずらん児童クラブ (清明地区)、くすのき児童クラブ (豊地区)、すみれ児童クラブ (森田地区) は、同校区内の他の児童クラブの抽選から外れた児童の受け入れを行った。

3 子育てひろば事業

児童館で、乳幼児とその家族の方々の遊びの場、交流の場として子育てひろばを開催した。

(1) 開催日 毎週木曜日 10:00~11:30 (小学校の長期休業期間は除く)

(2) 開催数 1,108 回 (前年度 1,157 回)

(3) 利用者数 5,874 名 (前年度 5,708 名)

4 こども食堂活動等(こどもの居場所づくり)支援事業

7 児童館で、児童館行事に加え、食事の提供をすることで、様々な年齢層の児童館利用の機会と地域の人との交流を図り、こどもの居場所づくりの強化を図った。

(1) 開設場所 さつき (旭)、とちのき (松本)、もくせい (文殊)、くすのき (豊)、すぎのこ (美山)、たけのこ (鶉)、まつのき (宝永)

- (2) 開催数 16回(1児童館2~3回実施)
(3) 参加者数 538名

Ⅳ 駐車場運営事業

< 拠点区分4 >

福井市毛矢3丁目7番4号の土地を貸駐車場(5台分)として賃貸した。

駐車場賃貸収入 5台分 224,000円(前年度(令和5年度) 240,000円)

Ⅴ 自動販売機設置運営事業

< 拠点区分5 >

フェニックス・プラザ内1台

設置手数料収入 216,552円(前年度(令和5年度) 154,574円)

上記のほか、株式会社ウララコミュニケーションズ、啓蒙公民館、株式会社カワカミパワーシステムの3ヶ所に自動販売機を設置いただき、売上の一部31,010円を寄附していただいた。

Ⅵ 関係機関団体への支援・協力

1 各種委員会・会議への参加協力(出席者)

- ・福井県社協理事(会長)
- ・福井県共同募金会理事(副会長)
- ・福井県共同募金会配分委員会委員(副会長)
- ・福井県福祉人材センター運営委員会委員(事務局長)
- ・福井市交通安全対策協議会委員(会長)
- ・福井市国民保護協議会委員(会長)、幹事(事務局長)
- ・福井市防災会議委員(会長)、幹事(事務局長)
- ・福井市社会福祉審議会委員(会長、総務企画課長、地域福祉課長、相談支援課長)
- ・「社会を明るくする運動」福井市推進委員会委員(会長)
- ・公益財団法人福井市ふれあい公社評議員(会長)
- ・公益財団法人ふくしん地域振興協力基金評議員(会長)
- ・公益財団法人歴史のみえるまちづくり協会評議員(会長)
- ・青少年育成福井市民会議監事(副会長)
- ・福井刑務所視察委員会委員(副会長)
- ・福井市民生委員推薦会委員(理事)
- ・福井市国民健康保険運営協議会委員(理事)
- ・福井県共同募金会福井市共同募金委員会運営委員(専務理事)
- ・福井市不死鳥のねがい推進協議会常任委員(専務理事)
- ・福井市明るい社会づくり推進協議会常任理事(専務理事)
- ・福井市功労者選考委員会委員(評議員)
- ・福井市中央公民館運営審議会委員(事務局長)
- ・福井市災害ボランティアセンター連絡会座長(事務局長)、委員(地域福祉課職員)
- ・福井市避難行動要支援者の支援に関する検討委員会委員(副会長)
- ・福井市障がい者自立支援協議会委員(事務局長、地域福祉課職員、相談支援課職員)
- ・ふくい嶺北成年後見制度利用促進連携協議会委員(事務局長)

- ・ 福井市要保護児童対策地域協議会委員（総務企画課長、総務企画課職員）
- ・ 福井市地域共生社会推進代表者会議委員（地域福祉課長）
- ・ 福井市地域包括ケア推進協議会委員（地域福祉課長）
- ・ 福井市健康づくり推進協議会委員（地域福祉課長）
- ・ 福井市障がい者差別解消支援地域協議会委員（相談支援課長）
- ・ 福井市学校不適応対策事業推進会議委員（総務企画課長）
- ・ 福井市児童クラブ連絡協議会理事（総務企画課長）
- ・ 福井市総合ボランティアセンター運営委員（地域福祉課職員）
- ・ 福井市高齢者虐待防止ネットワーク運営委員会委員（相談支援課長）
- ・ 福井市障がい者虐待防止ネットワーク運営委員会委員（相談支援課長）
- ・ 福井市自殺対策協議会委員（相談支援課長）
- ・ 福井市空き家対策協議会委員（地域福祉課職員）
- ・ 福井市認知症施策検討委員会委員（地域福祉課職員）
- ・ 福井市介護予防・生活支援サービス検討会議委員（地域福祉課職員）
- ・ 福井市都市計画マスタープラン等策定委員会委員（総務企画課職員）
- ・ 福井市消費者センター運営協議会委員（地域福祉課職員）
- ・ 福井県内社協職員協議会役員（総務企画課職員）
- ・ ふくい桜マラソン実行委員会委員（会長）

2 後援・共催事業

- ・ 第 27 回福井シルバーバレーボール交歓全国大会
- ・ JUMP - JAM スタッフトレーニング（運動遊びプログラム実践研究会）福井会場
- ・ 第 11 回足羽川ふれあいマラソン
- ・ 第 5 回ふくい終活フェア
- ・ 第 65 回福井市あじさい元気クラブ大会
- ・ つながるサーカスキャラバン 2024
- ・ 令和 6 年度赤い羽根共同募金運動
- ・ 令和 6 年度第 23 回市民公開講座
- ・ 第 16 回葵ライオンズクラブ主催 福井県障がい者水泳競技大会
- ・ 第 46 回ユニークダンスパーティー（コンサート）
- ・ 第 38 回三世代合同のつどい
- ・ 第 25 回福井県障がい者ハートフル文化祭
- ・ 第 8 回あじさい元気カラオケ大会
- ・ ボラ連上映会「星に語りて」
- ・ みんなで舞台に立とう！20 周年記念公演～THIS IS ME 私はここに立つ～
- ・ 第 6 回ボラ連杯レクレーションボッチャ（令和 6 年能登半島地震・東日本大震災チャリティー）大会

3 社会福祉援助技術現場実習等の受け入れ

（1）福井県立大学 1 名

令和 6 年 9 月 17 日（火）～10 月 30 日（水）

社会福祉士受験資格修得のための実習

4 県外社協との連携の推進

(1) 福井市・富山市・金沢市社協懇談会

開催日 令和6年11月1日(金)

開催方法 福井市民福祉会館3階301号室

参加者 23名(うち、本会職員11名)

内 容 全体会「能登半島地震における対応状況と今年度の重点事業について」
分科会 ①BCPの策定状況について
②権利擁護事業の取り組みについて
③地区社協との関わりについて

(2) 福井市・岐阜市・奈良市社協災害時における相互支援に関する協定研修会

開催日 令和6年10月25日(金)、26日(土)

場 所 1日目 天平みはらし館
2日目 奈良市南福祉センター

参加者 39名(うち、本会職員4名)

内 容 1日目
第1部 グループワーク・全体共有
第2部 講義 「奈良県内における相互支援体制の方向性とICTの活用」
講師 奈良県社会福祉協議会 総合ボランティアセンター
2日目
災害VCにおけるICT活用体験会

VII 共同募金運動への協力

福井市共同募金委員会の事務局を担い、各種団体の協力を得ながら、赤い羽根共同募金運動を実施した。一般募金、地域歳末たすけあい募金の実績はいずれも、目標額に対して上回る結果となった。

【一般募金】

(単位:円)

募金の種類	目標額	実績額	差異額
戸別募金	10,533,000	9,538,502	△994,498
大口募金	6,000,000	5,505,772	△494,228
街頭募金	80,000	168,645	88,645
学校募金	500,000	546,157	46,157
職域募金	2,030,000	1,842,257	△187,743
法人募金	1,350,000	921,676	△428,324
その他の募金	629,000	5,798,222	5,169,222
合計	21,122,000	24,321,231	3,199,231

【地域歳末たすけあい募金】

(単位:円)

募金種類	目標額	実績額	差異額
街頭募金	150,000	160,112	10,112
合計	150,000	160,112	10,112

令和6年度中期経営計画進捗状況

資料 1

(目標値を設定した実施項目のみ)

推進項目1 住民に信頼される組織をめざします

取組み方策	実施項目	内容・指標	目標値	実績	進捗状況	効果額(円)
1 理事会運営の改善	役員研修会の実施(現地視察等)	年1回	1回	0回	役員研修会は実施していない。 令和8年度のふれあい公社との統合に向け、基本合意書やビジョン骨子の内容や進め方について議論し、役職員の共通認識を深めた。	-
2 住民への情報の積極的な提供	自治会、地区社協での事業説明会の開催	希望する自治会、地区社協すべて	100%	100%	地区社協向けの事業説明会は、希望する30地区全て出席した。また、15地区から事業説明の依頼があり、全てに出席し、社協活動の説明と一般会費納入を依頼した。	-

推進項目2 地域福祉の課題への共感を広げ、解決につながる参加・連携・協働を進めます

取組み方策	実施項目	内容・指標	目標値	実績	進捗状況	効果額(円)
2 市社協の専門性を活かした事業の強化	③幅広い分野との連携協働の強化と新たな社会資源創出	連携の事例と社会資源の開発 年1事例以上	1事例以上	3事例	・AKUSHU BOOK & BASE エルパ店の社会貢献として、市内の児童に関わる事業所や団体へのコーディネート支援を行った。 ・福井九頭竜ライオンズクラブ主催の手話の啓発イベントに対し、福井市聴力障害者福祉協会と手話サークル泉を調整し、事前広報に協力した。 ・市内の企業等延べ11社・4団体から食料品等の寄贈があり、ひとり親家庭や子ども食堂への支援として活用した。	-
	④法人後見事業の拡充と成年後見利用促進への協力	年5ケース新規受任 中核機関の受託	5ケース	0ケース	家庭裁判所からの新規受任の相談がなかった。	-

推進項目3 人材の確保と育成を図ります

取組み方策	実施項目	内容・指標	目標値	実績	進捗状況	効果額(円)
5 ワークライフバランスの推進	有休取得の向上	有休取得10日以上	100%	55%	年間を通して、年次有給休暇の計画的取得を実施し、年次有給休暇取得の促進を行った。目標を達成できたのは、対象となる事務局職員22名のうち12名である。	-

推進項目4 財政の安定化と財源の確保を行います

取組み方策	実施項目	内容・指標	目標値	実績	進捗状況	効果額(円)
1 自主財源の確保	一般会費納入率80%未満の地区解消	納入率80%以上 (R5年度末44地区)	46地区	43地区	自治会から直接納入がある全5地区へ納入の働きかけを行い、一部の地区では、100%近くの納入率となった。一方で働きかけにもかかわらず、80%を下回る地区が新たに1地区増えた。	-
	賛助会費の加入口数増	事務局扱い分 前年度対比 (R5年度末139口)	102口	121口	昨年度に引き続き、事務局職員の加入口数を1口以上から2口以上にした。	△ 18,000
	特別賛助会費の口数増	前年度対比 (R5年度末656.8口)	698口	654.9口	新規加入募集のため、令和元年度から4年度に依頼した企業の中から469社に依頼通知を送付した。	△ 19,000

取組み方策	実施項目	内容・指標	目標値	実績	進捗状況	効果額(円)
1 自主財源の確保	法人募金企業数増	前年度対比 (R5年度末124社)	135社	94社	令和5年度に実績のある企業をはじめ、県共募が作成した県内企業名簿で、令和5年度に寄付のなかった企業に郵送で依頼した。	前年度比較 △254,619
	寄付件数の増 (大口除く)	前年度対比 (R5年度末8件)	14件	17件	社協だよりに寄附・寄贈の記事を掲載した。	-
	広報紙の広告料	年160,000円	160,000円	120,000円	社協だよりに広告チラシを同封し、特別賛助会員に送付した。また、社協だよりに随時、広告募集の記事を掲載した。	△40,000
6 質を意識した事業運営	質の向上につながる研修等の実施	年1回以上	1回以上	1回	情報セキュリティ対策についての知識を身に付け、情報漏洩や情報セキュリティ事故に対する意識の向上を図るための研修会を行った。	-

地区名	実施日時	会場	参加者	主な内容
あたご	木田 6月29日、7月13日	木田公民館	福祉委員+民生児童委員	支え合いマップ、情報交換
	豊 7月27日(日)、8月24日(日)、9月7日(日)、28日(日)	豊公民館他	福祉委員+民生児童委員+自治会長+保健衛生推進員	支え合いマップ、情報交換
	足羽 6月29日 (土)	足羽公民館	福祉委員+民生児童委員	福祉委員の役割、防災研修
	湊 7月13日 (土)	湊公民館	福祉委員+民生児童委員	特殊詐欺の傾向と対策
不死鳥	湊 2月15日 (土)	湊公民館	福祉委員+民生児童委員	見守り活動、情報交換
	春山 5月24日 (金)	春山公民館	福祉委員+民生児童委員	福祉委員の役割
	春山 9月21日 (土)	春山公民館	福祉委員+民生児童委員	認知症サポーター養成講座
	宝永 4月4日(金)、5日(土)	宝永公民館	福祉委員+民生児童委員	福祉委員の役割、ブロック別合同会議
	順化 4月28日 (日)	順化公民館	福祉委員+民生児童委員	福祉委員の役割、事業説明
	松本 6月2日 (日)	松本公民館	福祉委員+民生児童委員	福祉委員の役割、事業説明
	松本 10月19日 (土)	松本公民館	福祉委員+民生児童委員+自治会長+自主防災会	避難支援プラン、情報交換
	日之出 4月6日 (土)	日之出公民館	福祉委員+民生児童委員	福祉委員の役割、事業説明
	日之出 11月30日 (土)	日之出公民館	福祉委員+民生児童委員	見守り支え合い体験ゲーム
	旭 6月1日 (土)	旭公民館	福祉委員+民生児童委員	福祉委員の役割
	旭 3月15日 (土)	旭公民館	福祉委員+民生児童委員	障がい理解、情報交換
	日新 6月15日 (土)	日新新公民館	福祉委員+民生児童委員	福祉委員の役割、認知症講演会
みなみ	清明 5月15日 (水)	清明公民館	福祉委員+民生児童委員	福祉委員の役割、情報交換
	清明 1月31日 (金)	清明公民館	福祉委員+民生児童委員	地域包括支援センターの役割
	東安居 4月20日 (土)	東安居公民館	福祉委員+民生児童委員	福祉委員の役割、情報交換
	東安居 3月2日 (日)	東安居公民館	福祉委員+民生児童委員	支え合いの地域づくり
	社南 4月6日 (土)	社南公民館	福祉委員+民生児童委員	福祉委員の役割、避難支援プラン
	社南 6月9日 (日)	社南公民館	福祉委員+民生児童委員	ふれあいサロン模擬体験、情報交換
	社南 12月7日 (土)	社南公民館	福祉委員	福祉サービスについて、情報交換
	社北 5月1日 (水)	社北公民館	福祉委員+民生児童委員	福祉委員の役割、情報交換
	社北 12月1日 (日)	社北公民館	福祉委員+民生児童委員	支え合いマップ、情報交換
	社北 2月22日 (土)	社北公民館	福祉委員+民生児童委員	包括支援センターとの連携、情報交換
	社西 4月6日 (土)	社西公民館	福祉委員+民生児童委員	福祉委員の役割、情報交換
	麻生津 4月20日 (土)	麻生津公民館	福祉委員+民生児童委員	福祉委員の役割、情報交換
	麻生津 12月4日 (水)	麻生津公民館	福祉委員+民生児童委員	認知症研修
	和田 4月10日 (水)	和田公民館	福祉委員+民生児童委員	福祉委員の役割、情報交換
あずま	和田 11月6日 (水)	和田公民館	福祉委員+民生児童委員+自治会長	支え合いマップ、情報交換
	円山 4月20日 (土)	円山公民館	福祉委員+民生児童委員+自治会長	支え合いマップ、情報交換
	円山 6月1日 (土)	円山公民館	福祉委員+民生児童委員	福祉委員の役割、情報交換
	円山 3月9日 (日)	円山公民館	福祉委員+民生児童委員	防災について
	啓蒙 6月8日 (土)	啓蒙公民館	福祉委員+民生児童委員+保健衛生推進員	福祉委員の役割、活動紹介
	岡保 6月11日 (火)	岡保公民館	福祉委員+民生児童委員	福祉委員の役割、情報交換
	岡保 11月16日 (土)	岡保公民館	福祉委員+民生児童委員	福祉事業所の概要
	東藤島 4月24日 (水)	東藤島公民館	福祉委員+民生児童委員	デイホーム
九頭龍	西藤島 4月20日 (土)	西藤島公民館	福祉委員+民生児童委員	福祉委員の役割、情報交換
	中藤島 4月7日 (日)	中藤島公民館	福祉委員+民生児童委員	福祉委員の役割、情報交換
	河合 6月1日 (土)	中藤島公民館	福祉委員+民生児童委員+自治会長	支え合いマップ、情報交換
	河合 4月3日 (水)	川合郷町集落センター	福祉委員+地区社協役員	福祉委員の活動
	河合 9月14日 (土)	川合郷町集落センター	福祉委員+地区社協役員	認知症サポーター養成講座
	森田 4月13日 (土)	森田公民館	福祉委員+民生児童委員	福祉委員の役割、情報交換
	森田 6月2日 (日)	森田公民館	福祉委員+民生児童委員	避難支援プラン
	明新 2月12日 (水)	森田公民館	福祉委員+民生児童委員	振り込み詐欺防止
光	安居 7月13日(日)、14日(月)	会館、公民館	福祉委員+民生児童委員	福祉委員の役割、情報交換
	安居 5月10日 (金)	安居公民館	民生委員+福祉委員+保健衛生推進員	福祉委員の活動
	一光 4月24日 (水)	一光公民館	福祉委員	地区社協活動
	殿下 7月31日 (水)	殿下公民館	福祉委員	地区社協活動
	越廼 10月4日 (金)	越廼町ふれあいセンター	福祉委員+民生児童委員	支え合いマップ、情報交換
	清水西 6月15日 (土)	清水西公民館	福祉委員+民生児童委員	福祉委員の役割、情報交換
	清水西 10月26日 (土)	清水西公民館	福祉委員+民生児童委員	地区社協活動、情報交換
	清水東 5月31日 (金)	清水東公民館	福祉委員+民生児童委員	包括の役割、見守り支え合い
	清水東 1月24日 (金)	清水東公民館	福祉委員+民生児童委員	支え合いマップ、情報交換
	清水南 6月18日 (火)	清水南公民館	福祉委員+民生児童委員	地区社協活動、情報交換
	清水北 5月18日 (土)	清水北公民館	福祉委員+民生児童委員	情報交換
	大安寺 4月28日 (日)	大安寺公民館	福祉委員+民生児童委員	福祉委員の役割、情報交換
川西	国見 7月17日 (水)	国見公民館	福祉委員+民生児童委員	福祉委員の役割、情報交換
	鶯 5月11日 (土)	川西コミュニティセンター	福祉委員	地域の見守り活動
	棗 6月27日 (木)	棗公民館	福祉委員+民生児童委員	福祉委員の役割、情報交換
	鷹巣 4月12日 (金)	鷹巣公民館	福祉委員	福祉委員の役割と活動
	本郷 8月17日 (土)	本郷公民館	福祉委員+自治会長	地区社協活動
	宮ノ下 4月6日 (土)	宮ノ下公民館	福祉委員+民生児童委員	地区社協活動、情報交換
	酒生 4月13日 (土)	酒生公民館	福祉委員+民生児童委員	福祉委員の役割、情報交換
足羽	酒生 7月10日(木)、12日(土)	酒生公民館	福祉委員+民生児童委員	支え合いマップ、情報交換
	一乗 9月13日 (金)	一乗公民館	福祉委員+地区社協役員+自主防災組織+日赤奉仕団	支え合い事業について
	上文殊 4月4日 (木)	上文殊公民館	福祉委員+地区社協役員	地区社協活動
	文殊 5月25日 (土)	文殊公民館	福祉委員+民生児童委員	地区社協活動、情報交換
	六条 7月6日 (土)	六条公民館	福祉委員+民生児童委員	支え合いマップの更新、情報交換
	六条 2月8日 (土)	六条公民館	福祉委員+民生児童委員	災害対策について
	東郷 9月19日 (木)	東郷公民館	福祉委員+民生児童委員+自治会長	支え合いマップづくり
美山	4月13日 (土)	美山公民館	福祉委員+民生児童委員	福祉委員の役割と活動

令和6年度 啓発・ふれあい事業実施状況

ブロック名	地区名	事業内容等	補助金額（円）
あたご	木 田	ふれあい福祉まつり	60,000
	豊	広報紙の発行（年2回）、ふれあい福祉まつり	60,000
	足 羽	ふれあい福祉まつり	60,000
	湊	広報紙の発行（年1回）、ふれあい福祉まつり	60,000
不死鳥	春 山	広報紙発行（年3回）、ふれあい福祉まつり	60,000
	宝 永	広報紙の発行（年2回）、ふれあい福祉まつり	60,000
	順 化	広報紙の発行（年13回）、ふれあい福祉まつり	60,000
	松 本	広報紙の発行（年1回）、ふれあい福祉まつり	60,000
	日 之 出	広報紙の発行（年5回）、ふれあい福祉まつり	60,000
	旭	広報紙の発行（年1回）、年末助け合い運動	60,000
	日 新	広報紙の発行（年2回）、ふれあい福祉まつり	60,000
みなみ	清 明	広報紙の発行（年2回）	60,000
	東 安 居	広報紙の発行（年2回）、ふれあい福祉まつり	60,000
	社 南	広報紙の発行（年1回）	60,000
	社 北	広報紙の発行（年1回）、ふれあい福祉まつり	60,000
	社 西	広報紙の発行（年2回）、ふれあい福祉まつり、男の料理教室	60,000
	麻 生 津	広報紙の発行（年2回）、ふれあい福祉まつり	60,000
あずま	和 田	広報紙の発行（年1回）ふれあい福祉まつり	60,000
	円 山	広報紙の発行（年3回）、支え合い啓発ポスター作製	60,000
	啓 蒙	広報紙の発行（年1回）、ふれあい福祉まつり	60,000
	岡 保	広報紙の発行（年3回）	60,000
	東 藤 島	広報紙の発行（年1回）、サロン経費	60,000
九頭龍	西 藤 島	広報紙の発行（年2回）、ふれあい福祉まつり	60,000
	中 藤 島	広報紙の発行（年2回）	60,000
	河 合	広報紙の発行（年2回）、ひとり暮らし高齢者と介護者のつどい	60,000
	森 田	広報紙の発行（年1回）、ふれあい福祉まつり	60,000
	明 新	広報紙の発行（年1回）	60,000
光	安 居	広報紙の発行（年1回）、ふれあい福祉まつり	60,000
	一 光	ふれあい福祉まつり	60,000
	殿 下	ふれあい福祉まつり	60,000
	越 廼	ふれあい福祉まつり、グランドゴルフ他	60,000
	清 水 西	広報紙の発行（年2回）、ふれあい福祉まつり	60,000
	清 水 東	広報紙の発行（年3回）、ふれあい福祉まつり	60,000
	清 水 南	広報紙の発行（年1回）、ふれあい福祉まつり等	60,000
	清 水 北	ふれあい福祉まつり	60,000
川西	大 安 寺	広報紙の発行（年5回）、ふれあい福祉まつり	60,000
	国 見	高齢者のつどい	60,000
	鶺鴒	ふれあい福祉まつり、見守り活動	60,000
	棗	広報紙の発行（年1回）、ふれあい福祉まつり	60,000
	鷹 巣	広報紙の発行（年3回）、ふれあい福祉まつり	60,000
	本 郷	広報紙の発行（年1回）、ふれあい福祉まつり	60,000
足羽	宮 ノ 下	ふれあい福祉まつり	60,000
	酒 生	広報紙の発行（年2回）、ふれあい福祉まつり	60,000
	一 乗	広報紙の発行（年3回）、ふれあい福祉まつり	60,000
	上 文 殊	広報紙の発行（年2回）、ふれあい福祉まつり	60,000
	文 殊	広報紙の発行（年3回）、ふれあい福祉まつり	60,000
	六 条	広報紙の発行（年2回）、児童との交流会	60,000
	東 郷	広報紙の発行（年5回）、ふれあい福祉まつり	60,000
	美 山	広報紙の発行（年2回）、ふれあい福祉まつり	60,000

第4次地域福祉活動計画18の取り組み 推進状況

資料4

取り組み	令和6年度の結果
1 福祉への理解を広めて新たな人材を発掘する	・市民を対象に「たわらまちバリアフリー体験会」（カーフリーデーふくい2024）を開催し、障がい当事者の暮らしを学ぶとともに、バリアフリーやユニバーサルデザインへの理解を図った。 ・障がい理解を図る取り組みを、市障がい者自立支援協議会専門部会とともに協議し、地区社協（1地区）や市内単位民児協（2か所）で出前講座を開催した。
2 趣味、特技を活かした人材を発掘する	県社協ラジオ講座「いきいきライフ」（9月放送）に、職員や明新ハンドベルクワイアが出演し、ボランティア活動への参加と趣味や特技がボランティア活動につながることを広めた。
3 地域を基盤とした福祉教育で小・中学生の心を育む	・学校や企業等と連携し、延べ100校、1社で、福祉教育を実施した。 ・学校や地域と連携し、鶉・宮ノ下地区および豊地区で「子ども福祉委員」を任命した。福祉や障がいについての理解を深めるとともに、休日等に地区のデイホームや福祉まつりで高齢者と交流した。
4 地域の見守り、支え合いへの理解と共感を育む	・福祉委員・民生委員児童委員合同研修会、見守り支え合いマップ研修を実施した（47地区）。 ・見守り対象者から活動者へのあったかメッセージを社協だよりで広報した。 ・地区自治会長会議に出向き福祉委員の役割等を説明した（14地区）。
5 高校生・大学生が気軽に关われる地域福祉活動を広める	「ブックサイクルと絵本の読み聞かせ」の実施にあたって、準備ボランティアに高校生延べ27名が参加した。また、赤い羽根共同募金運動と歳末たすけあい募金の街頭募金ボランティアに、市内の高校の生徒29名が参加した。 たわらまちバリアフリー体験会2024のチラシおよびのぼり旗のデザインを、福井大学国際地域学部学生（3年生有志）が協力し作成した。
6 SDGsを踏まえた企業・社会福祉法人等の社会貢献活動を広める	・AKUSHU BOOK&BASEエルパ店の社会貢献として、市内の児童に関わる事業所や団体へのコーディネート支援を行った（6地区、43施設）。 ・福井九頭竜ライオンズクラブ主催の手話の啓発イベントに対し、福井市聴力障害者福祉協会と手話サークル泉を調整し、事前広報に協力した。当日は子どもから大人まで約100名が来場し、手話を通じてろう者の方たちと交流し、ボランティア情報紙に活動の取り組みを広報した。 ・市内の企業等延べ11社・4団体から食料品等の寄贈があり、ひとり親家庭や子ども食堂への支援として活用した。
7 いろいろな立場の人たちとの情報交換・交流を深める	令和6年度は実施なし。
8 障がい者等の文化・芸術活動の参加と広がりをつくる	・きらりアート展実行委員会主催（若狭町社協事務局）の「きらりアート展」へ嶺北エリアから出展する機会を広げるために、本会でも作品応募を受付し出展を後押しした。 ・市内の障がい者の文化芸術関係者に対し、チャリティーフェスティバル「能登震災・豪雨復興支援みんなでつくる文化祭with九頭竜ライオンズ」の出演を呼びかけ、参加の広がりをつくった。
9 世代をこえた出会い、ふれあい、学び合いの機会をつくる	・「たわらまちバリアフリー体験会」（カーフリーデーふくい2024）を開催し、小学生親子や大学生等が参加し、バリアフリーとユニバーサルデザインへの理解を広めた。 ・宝永小4年生を対象に、学校周辺のバリアフリーチェックを行い、障がい当事者や地区社協を学校へ招き、自分たちが発見した地域の課題や自分たちにできることを発表する交流会を行った。

取り組み	令和6年度の結果
10 誰でもいつでも集える場でのふれあいを広げる	・オープンサロンふらっとベルは、144回実施し、利用者は延べ1,826名であった。また、スペース内には、協力法人の利用者作品を掲示し、季節ごとに作品を入れかえた。 ・折り紙ボランティアブーケ茶論が、毎月1回ふらっとベルを活用しワークショップを開催し、毎回10名程度利用した。 ・新たに、地域活動支援センターわいわいから、利用者が読み終わった点字紙を再利用して作った紙箱を提供いただいていた。
11 新たなアイデアを共有する地域福祉活動の発表の場を開く	「地域福祉活動発表会2025」を開催し、120名が参加した。「たのしい！」が生まれる「居心地のいい場所」の秘訣をテーマに、福井市内で活動する3団体の方々から実践事例を発表していただいた。住民主体の地域の居場所づくりに向けたヒントを学んだり、今後の活動に向けた前向きな声を聞くことができた。 発表後は、登壇団体ごとにコーナーを設け、質疑応答や意見交換などの交流も行った。
12 地域福祉活動に参加する30～50歳代を増やす	地域福祉活動の楽しさややりがい、活動を継続するコツについて、50代の福祉委員2名を取材し、社協だよりやyoutube動画で発信し、地域住民への理解促進と啓発を行った。
13 ICTを活用してあらゆる世代に福祉の情報を広める	福井市災害ボランティアセンター連絡会にて、ICTを活用したセンター運営を進めるため、連絡会事務局（市民協働・ボランティア推進課）と連携して事前登録フォームやオリエンテーション動画を作成し、非常時に活用できるよう整備した。
14 コロナ下でも安心してつながれるノウハウを広める	地区社協連協連絡会にて、情報共有のツールの一つとして、LINE等を活用している地区社協があることを発信した。
15 福祉委員の想いを新たな見守り・支え合い活動につなげる	・見守り対象者から届いた、活動者へのあったかメッセージを募集し、社協だよりで発信した。 ・「あなたのまちの福祉委員」（2作目）と題し、福祉委員2名へのインタビュー動画をYoutubeで公開し、福祉委員活動を広報した。
16 ふだんの見守り・支え合いと防災が一体の活動モデルをつくる	・地区社協連協広報紙にて、平成16年福井豪雨当時の様子や、福祉と防災が連携した事例や明新地区内の取り組みを紹介し、地区社協等福祉関係者の意識を高めた。 ・社北地区社協や市内の介護事業所が、地域住民向けに防災をテーマにした行事を開催するにあたり、福井市防災士の会会員をつなぎ、地域住民や介護者への防災意識を高めた。
17 住民参加を高めるためのコーディネーションの手法を広める	若者のボランティア活動の参画のためのコーディネーションを学ぶ研修会を開催し、21名が参加した。参加者からは「若者の視点からのボランティアに対する考え方が知れたので、とても参考になった」「活動のイメージがしやすいよう、見せ方を工夫していきたいと思った」などの感想があり、若者の活動参加と継続のポイントを学ぶことができた。
18 福祉サービス事業所と住民が地域福祉でできることを考える	・福井市介護サービス事業者連絡会主催の「意見交換会」に地区社協の参加を呼びかけ、地域での課題を一緒に考え、介護サービス事業所と地域の活動者との顔の見える関係づくりを行った。 ・川西ブロック地区社協や岡保地区社協では、圏域内の介護サービス事業所との顔合わせと施設紹介の機会を設け、お互い顔の見える関係をつくった。

令和6年度 自治会型デイホーム事業 地区別利用者参加率

資料5

地 区		(人) 65歳以上人口 (R7.4)	(人) 75歳以上人口 (R7.4)	(人) 利用者 実人数	(人) 利用者 男性 実人数	(人) 利用者 女性 実人数	(人) 利用者 実人数 65歳～74歳	(人) 利用者 実人数 75歳以上	(人) 利用者 実人数 64歳以下 (不明除く)	(%) 65歳以上 人口による 参加率 (実人数)	(%) 75歳以上 人口による 参加率 (実人数)	(%) 高齢化率 (R7.4)
福井市全体		76,213	44,368	8,516	2,137	6,379	1,659	5,477	799	10.1	12.3	30.0
あ た ご	木 田	3,217	1,771	352	90	262	45	262	26	10.1	14.8	22.9
	豊	3,271	1,983	155	32	123	21	96	38	3.6	4.8	33.4
	足 羽	1,990	1,196	56	2	54	2	53	1	2.8	4.4	22.7
	湊	2,608	1,540	286	72	214	83	191	12	10.5	12.4	31.5
不 死 鳥	春 山	1,860	1,131	55	8	47	8	44	3	2.8	3.9	31.5
	宝 永	1,765	1,116	82	10	72	6	76	0	4.6	6.8	38.4
	順 化	1,287	756	229	83	146	26	141	8	17.2	18.7	39.1
	松 本	3,568	2,077	162	52	110	7	151	4	4.4	7.3	31.5
	日之出	2,168	1,261	103	19	84	3	99	1	4.7	7.9	31.2
	旭	1,809	1,124	54	10	44	5	48	1	2.9	4.3	36.1
	日 新	1,543	908	87	16	71	4	60	2	5.5	6.6	28.5
み な み	清 明	1,993	1,130	162	38	124	32	103	20	7.1	9.1	26.4
	東安居	2,073	1,172	206	42	164	53	151	2	9.8	12.9	31.9
	社 南	3,231	1,844	191	41	150	38	150	2	5.8	8.1	24.0
	社 北	1,986	1,141	87	10	77	9	64	3	4.2	5.6	23.9
	社 西	1,919	1,230	325	85	240	25	112	156	8.8	9.1	34.7
	麻生津	2,746	1,563	130	15	115	42	72	1	4.7	4.6	37.4
あ ず ま	和 田	2,688	1,511	114	22	92	19	85	1	4.2	5.6	23.6
	円 山	2,146	1,249	168	29	139	3	164	1	7.8	13.1	26.7
	啓 蒙	2,201	1,232	304	90	214	10	261	31	12.4	21.2	27.8
	岡 保	808	462	334	97	237	101	121	99	29.1	26.2	37.6
	東藤島	1,293	762	330	101	229	91	227	12	24.6	29.8	37.2
九 頭 竜	西藤島	1,425	797	161	46	115	39	105	7	10.8	13.2	31.2
	中藤島	2,872	1,570	234	68	166	10	149	1	8.1	9.5	23.4
	河 合	1,376	747	147	41	106	7	140	0	10.7	18.7	38.1
	森 田	3,384	1,974	343	68	275	103	165	75	7.9	8.4	20.5
	明 新	3,930	2,364	184	32	152	29	155	0	4.7	6.6	25.2
光	安 居	1,110	571	170	35	135	22	121	2	15.1	21.2	37.7
	一 光	安居地区に含みます										
	殿 下	203	122	103	20	83	10	84	9	46.3	68.9	61.1
	越 廼	489	288	80	18	62	10	24	20	12.3	8.3	53.9
	清水西	813	477	78	21	57	28	49	1	9.5	10.3	28.4
	清水東	598	333	207	81	126	87	77	35	28.8	23.1	35.9
	清水南	831	477	259	97	162	91	165	0	31.2	34.6	42.4
	清水北	900	529	188	84	104	46	136	6	20.2	25.7	40.9
川 西	大安寺	430	239	90	33	57	43	37	7	19.3	15.5	40.9
	国 見	418	262	182	63	119	35	137	10	41.1	52.3	49.4
	鶉	1,008	574	158	26	132	50	100	8	14.9	17.4	37.3
	栗	557	345	235	63	172	40	155	40	35.0	44.9	41.6
	鷹 巣	688	396	128	27	101	49	68	10	17.2	17.2	43.6
	本 郷	333	191	85	33	52	13	72	0	25.5	37.7	36.0
	宮ノ下	259	162	51	10	41	17	13	1	19.3	8.0	33.7
足 羽	酒 生	1,054	616	284	98	186	54	155	75	19.8	25.2	34.3
	一 乗	323	192	64	3	61	27	31	6	18.0	16.1	47.9
	上文殊	677	406	99	3	96	30	61	6	13.7	15.0	44.1
	文 殊	781	436	231	56	175	30	155	42	24.2	35.6	21.2
	六 条	766	474	64	10	54	12	51	1	8.2	10.8	39.4
	東 郷	1,220	718	365	102	263	54	77	13	28.9	10.7	32.2
	美 山	1,598	949	354	35	319	90	264	0	22.2	27.8	47.8
福井市全体		76,213	44,368	8,516	2,137	6,379	1,659	5,477	799	10.1	12.3	30.0

児童館利用実績

資料6

単位:人

児童館 及び児童会名	利 用 種 別	合 計											合計	平均人数
		任意利用	日数	自主事業		乳幼児	小学生 低学年	小学生 中学年	小学生 高学年	小学生以上 内訳		大人 (18歳以上)		
				乳幼児	大人 (18歳以上)					中学生	高校生			
	放 課 後 利 用	日数			1年	2年	3年	4年	5年	6年		合計	平均人数	
1つばき	任 意 利 用	292	129	128	85	438	198	74	13	0	284	1,349	5	
	放 課 後 利 用	278			8,629	5,366						13,995	50	
2ひまわり	任 意 利 用	292	136	135	79	687	186	94	4	0	76	1,397	5	
	放 課 後 利 用	284			2,730	3,275	2,704	110	236			9,055	32	
3さくら	任 意 利 用	292	41	40	16	85	277	27	0	0	15	501	2	
	放 課 後 利 用	288			4017	3149	2692					9,858	34	
4あじさい	任 意 利 用	292	33	25	64	703	352	475	11	0	76	1,739	6	
	放 課 後 利 用	286			4168	2433	194					6,795	24	
5さぎんか	任 意 利 用	292	148	143	34	222	94	7	0	0	38	686	2	
	放 課 後 利 用	284			3,061	5,216	2,067					10,344	36	
6さつき	任 意 利 用	292	40	40	18	225	104	35	2	2	48	514	2	
	放 課 後 利 用	242			3951	4861	1454					10,266	42	
7とちのき	任 意 利 用	292	261	235	163	923	299	114	22	9	257	2,283	8	
	放 課 後 利 用	292			3,292	1,847	1,419	838	830			8,226	28	
8もくせい	任 意 利 用	292	16	18	16	218	135	27	4	0	15	449	2	
	放 課 後 利 用	266			2,766	1,574	1,745	649	1180	114		8,028	30	
9とまと	任 意 利 用	292	70	68	68	687	561	330	32	20	56	1,892	6	
	放 課 後 利 用	290			4,594	3,191	1,619	972				10,376	36	
10すいせん	任 意 利 用	292	295	279	250	441	449	164	69	6	252	2,205	8	
	放 課 後 利 用	287			4,109	3,445	4,175					11,729	41	
11すずらん	任 意 利 用	292	50	49	40	433	718	43	3	14	64	1,414	5	
	放 課 後 利 用	283			3,811	2,760	219	14				6,804	24	
12ふじ	任 意 利 用	292	314	285	205	974	648	285	22	0	197	2,930	10	
	放 課 後 利 用	292			6,061	3,218	2,309	612				12,200	42	
13もみじ	任 意 利 用	292	100	102	72	112	153	133	0	1	65	738	3	
	放 課 後 利 用	290			3,188	3,019	2,586	1,314	419	240		10,766	37	
14こすもす	任 意 利 用	292	105	37	35	115	320	142	1	0	46	801	3	
	放 課 後 利 用	269			1,567	2,226	2,949	472				7,214	27	
15くすのき	任 意 利 用	292	150	158	18	266	197	133	9	0	31	962	3	
	放 課 後 利 用	290			4,191	1,529	2,145	903	142			8,910	31	
16たちばな	任 意 利 用	292	19	19	10	82	380	76	1	4	5	596	2	
	放 課 後 利 用	288			931	1,089	968	1,190	523			4,701	16	
17あさがお	任 意 利 用	291	14	15	37	351	177	68	2	0	109	773	3	
	放 課 後 利 用	277			5913	5254	2625					13,792	50	
18たんぽぽ	任 意 利 用	292	183	174	97	754	951	981	46	0	133	3,319	11	
	放 課 後 利 用	291			12,102							12,102	42	
19すみれ	任 意 利 用	292	115	109	37	83	93	39	1	0	38	515	2	
	放 課 後 利 用	291			3,395	1,750	5,583	235				10,963	38	
20どんぐり	任 意 利 用	292	175	167	138	248	362	53	53	4	88	1,288	4	
	放 課 後 利 用	281			4,619	4,987	3,330					12,936	46	
21くるみ	任 意 利 用	292	144	124	42	1,498	328	713	12	3	32	2,896	10	
	放 課 後 利 用	278			5,906	6,168						12,074	43	
22つくし	任 意 利 用	292	55	39	64	959	648	363	41	1	103	2,273	8	
	放 課 後 利 用	274			6,530	2,451	2,598					11,579	42	
23すぎのこ	任 意 利 用	292	0	0	2	120	50	820	51	0	6	1,049	4	
	放 課 後 利 用	258				42	146	447	148	154		937	4	
24まきやま	任 意 利 用	292	20	19	77	1,480	318	177	14	0	42	2,147	7	
	放 課 後 利 用	292			4,020	4,214	1,930					10,164	35	
25たけのこ	任 意 利 用	292	104	101	37	178	101	45	62	2	75	705	2	
	放 課 後 利 用	246			2,126	1,782	1,845	201				5,954	24	
26さくらんぼ	任 意 利 用	287	45	48	24	517	128	19	0	1	24	806	3	
	放 課 後 利 用	261			552	1,989	2,475	1,141				6,157	24	
27ちゅうりっぷ	任 意 利 用	292	83	84	67	207	75	30	0	0	227	773	3	
	放 課 後 利 用	267			3,964	2,390	2,167					8,521	32	
28まつのき	任 意 利 用	292	101	99	57	527	497	196	1	0	61	1,539	5	
	放 課 後 利 用	239			3,318	2,692	2,085					8,095	33	
総計	任 意 利 用	7,003	2,946	2,740	1,852	13,533	8,799	5,663	476	67	2,463	38,539	5	
	放 課 後 利 用	7,764			113,511	81,917	54,029	9,098	3,478	508		262,541	34	